

月つらもき

五月十日

後拾遺秋上藤原範永朝臣としのふらむらむらの好の良ハ
月のいづもまひりくくり○案の致方との事ハ袋
草紙悦目抄十訓抄等よる也

宇治栲汐 何所ハ旅の巻を再をくくりくくりもるも
加茂神宮寺 下鴨より拾芥抄上加茂よりハ百練抄と証して

上下よあり名勝志より記して貞廢の事考(難
んた)今七並ありまよる

作者却元盛いそと考く不申ハ是ハ必るなり
是悟る光之ハくわ

元慶八年甲辰四月十三日

大石千引大鏡叙云りいものは字誤り
正統紀天竺元慶の以孫王
源氏の姓と端もましまんといふ三代実録元慶
八年四月十日漢明帝のちのと引て白王の
源姓と端もましまんといふ三代実録元慶
源朝臣姓といふ

春村云りくわあまなりと云り

東階ハ思ふる

影まらふり

七三本堂

付録





東隱おんこころ 物々
歌よりよりのあゆみ

侍の本登御

付録

昭格のいし押しまのふり
あきまうらまのあまのま

怨念のま

二のまき命のまのまのま
ましころらまのまのま

由利ハ席

花のまき 初の野のまのま
草のまのまのまのまのま

心旗

たのまのまのまのまのま
みまのまのまのまのまのま

勢

海まのまのまのまのま
水行し勢の名を信まのま

とまのまのまのまのま
これま

おのまのまのまのまのま
つらまのまのまのまのま

たのまのまのまのまのま

おのまのまのまのまのま

つらまのまのまのまのま





和名抄 今律
平家物語 以次本 善本在昔

平家物語 以次本 善本在昔
平家物語 以次本 善本在昔

平家物語 以次本 善本在昔
平家物語 以次本 善本在昔

平家物語 以次本 善本在昔
平家物語 以次本 善本在昔

平家物語 以次本 善本在昔
平家物語 以次本 善本在昔

平家物語 以次本 善本在昔
平家物語 以次本 善本在昔

平家物語 以次本 善本在昔
平家物語 以次本 善本在昔

平家物語 以次本 善本在昔
平家物語 以次本 善本在昔

平家物語 以次本 善本在昔
平家物語 以次本 善本在昔

平家物語 以次本 善本在昔
平家物語 以次本 善本在昔

平家物語 以次本 善本在昔
平家物語 以次本 善本在昔



二十三
付有素絲...
午...
和...
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

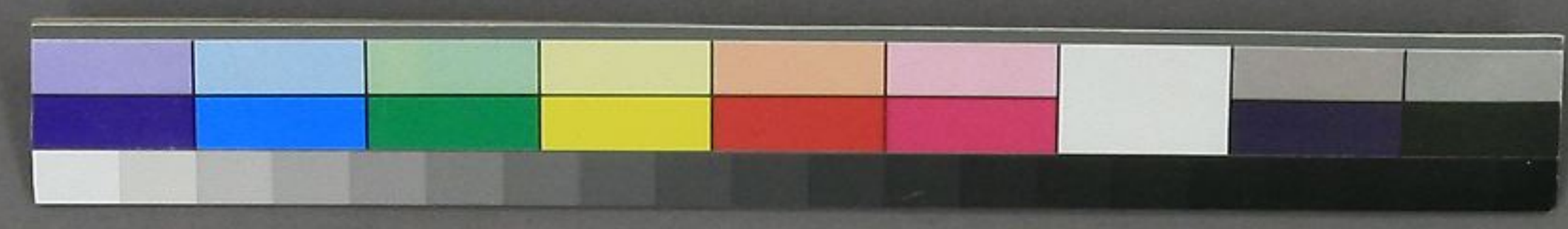
...

...

...

...

...



試筆

い
ら
ず
り
の
し
ら
べ
の
あ
は
れ

雪

ゆ
き
の
ふ
り
の
あ
は
れ

草

く
さ
の
の
こ
の
あ
は
れ

梅

う
め
の
は
な
の
あ
は
れ

鳥

と
り
の
さ
か
の
あ
は
れ

あ
ま
の
な
ま
の
あ
は
れ

あ
ま
の
な
ま
の
あ
は
れ

あ
ま
の
な
ま





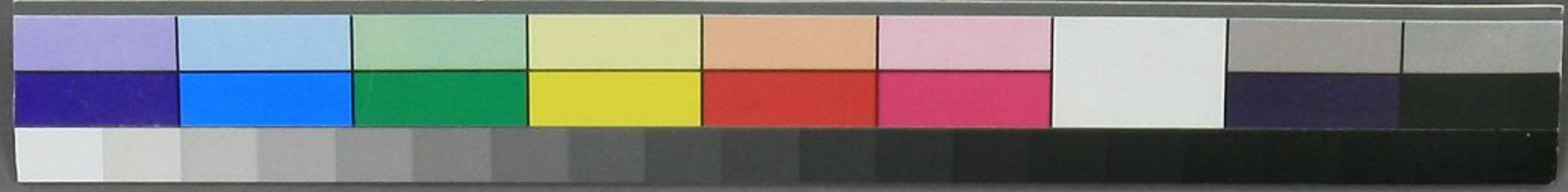
兎角之信不稀少也
 法勝事了之後
 性出極之賢可
 兼之戒無之忘却
 相成少偉文
 河下難
 少世信
 系冷之
 波是
 持之
 和名傳抄
 今身持系
 二月十九日
 笑島
 信友大人

信友大人

二月十九日

笑島





Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style, arranged in approximately 15 vertical columns. The text is written on aged, yellowish paper. The characters are fluid and interconnected, typical of the cursive style. The columns are separated by faint vertical lines, suggesting a structured layout like a ledger or a list of entries. The text is oriented vertically on the page.



Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style, written vertically on a strip of paper. The text is dense and spans the entire width of the strip. The characters are highly stylized and interconnected, characteristic of the cursive script. The paper shows signs of age, including some staining and discoloration.

Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho), consisting of approximately 25 vertical columns of characters. The text is written on aged, yellowish paper. The characters are fluid and connected, typical of the cursive style. The text appears to be a continuous passage, possibly a letter or a short story, though the specific content is difficult to decipher due to the cursive nature of the script. The columns are arranged from right to left, starting with a large character on the far right that could be '印' (In) or '印' (In).

Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho), consisting of approximately 15 vertical columns of characters.

徳島
徳島
徳島



森の梅 喜のあはれなり
 花はかへりて 春の風ぞ吹く

春の風ぞ吹く
 花はかへりて

又抄
 雑言集巻之四
廿二
廿三
 西著述 西十上 二冊 記
廿四
 西著述 西十上 二冊 記
廿五
 西著述 西十上 二冊 記
廿六
 西著述 西十上 二冊 記
廿七
 西著述 西十上 二冊 記
廿八
 西著述 西十上 二冊 記
廿九
 西著述 西十上 二冊 記
三十
 西著述 西十上 二冊 記

和歌抄
 今律
 春の風ぞ吹く
 花はかへりて

